

ふくおか & MAFF

2020.10
vol.17

MAFFとは農林水産省の英語表記「Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries」の略称です。

Contents

- ➔ 令和3年度農林水産関係予算概算要求は2.8兆円
- ➔ 高収益作物次期作支援交付金の運用見直しについて
- ➔ 豆類経営改善共励会 受賞者を紹介します
- ➔ 渡り鳥の飛来シーズン間近、鳥インフルエンザに注意を

令和3年度農林水産関係予算概算要求は2.8兆円

農林水産省は令和3年度農林水産予算概算要求として、2兆7,734億円を財務省に提出しました。新型コロナウイルス禍でも揺るがない生産基盤・セーフティネットの構築、新たな生活様式への転換が柱となっています。（今後の予算編成の過程で変更となることがあります。）

8つのポイント

1	生産基盤の強化と経営所得安定対策の着実な実施
2	スマート農業・DX・技術開発の推進、食と農に対する理解の醸成
3	5兆円目標の実現に向けた農林水産物・食品の輸出力強化と高付加価値化
4	農業農村整備、農地集積・集約化、担い手確保・経営継承の推進
5	食の安全と消費者の信頼確保
6	農山漁村の活性化
7	森林資源の適切な管理と林業の成長産業化の実現
8	水産資源の適切な管理と水産業の成長産業化の実現

将来にわたり収益をあげられるよう、予算要求しています。



注目の事業

☆ 持続的生産強化対策事業 (215億円)

・野菜、果樹、茶・薬用作物、花き、養蜂等の生産性向上や販売力強化に向けた取組、産地全体の発展を図る取組を総合的に支援



☆ 水田活用の直接支払交付金 (3,050億円)

・麦、大豆、米粉用米、飼料用米等の戦略作物の本作化、産地交付金による産地づくりを支援

☆ 「麦・大豆増産プロジェクト」の推進 (60億円)

・国産の麦・大豆の需要を捉えた生産拡大と安定供給の実現に向けた取組を支援



☆ 強い農業・担い手づくり総合対策交付金 (245億円)

・農業用機械・施設の導入、加工・業務用農畜産物の国産への切替え等に対応するための施設整備を支援



☆ スマート農業総合推進対策事業 (55億円)

・スマート農機のシェアリング等の実証、低価格のスマート農機の開発、農業データ連携基盤(WAGRI)の活用促進のための環境整備等を支援



☆ 農林水産省共通申請サービス(eMAFF)によるDXの推進 (93億円)

・スマホ等で補助金等の申請ができ、農地の現地情報の統合も可能にするeMAFFを構築



☆ グローバル産地づくりの強化 (36億円)

・GFP(農林水産物・食品輸出プロジェクト)に基づき、生産から輸出まで一貫して支援

☆ 輸出向けHACCP施設の整備 (79億円)

・食品製造事業者等によるHACCP対応等の施設改修、機器整備等を支援



令和3年度農林水産予算概算要求の概要について
(農林水産省HP)
<http://www.maff.go.jp/j/budget/index.html#yr03>

高収益作物次期作支援交付金の運用見直しについて

高収益作物次期作支援交付金の運用が見直され、これまでの取組計画書等に加えて、「**申告書**」の**追加提出**をお願いすることになりました。

農業者の皆様には多大な御迷惑と御負担をお掛けすることになり、誠に申し訳ありませんが、何卒、御理解を賜りますようお願い申し上げます。

相談窓口連絡先（九州農政局）

園芸特産課（直通）
096-300-6253，096-300-6249
企画調整室（直通）
096-300-6006，096-300-6007



運用見直しのポイント

	変更前	変更後
交付対象面積	次期作の 全作付面積	売上げが減少した 品目の作付面積
交付額上限	なし	減収額を 超えない範囲
厳選出荷の 取組日数上限	なし	作業従事者1人 につき90日まで
減収を示す 申告書	不要	必要

高収益次期作支援交付金について（農林水産省HP）
<https://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/engei/jikisaku.html>

豆類経営改善共励会 受賞者を紹介します

全国

日本豆類協会理事長賞
（大豆家族経営の部）



麻生 幸希 様（宗像市）

経営の概要

- ・作付面積：大豆3.4ha（うち種子大豆1.2ha）
 水稻8.9ha 麦類5.9ha
- ・大豆単収：188kg/10a（フクユタカ）

栽培の特徴

- ・大豆作付面積の53%を団地化し、ブロックローテーション
- ・「**整地+播種+除草剤散布**」一工程体系の**確立による省力化の実現**

徹底した排水対策に加え、土づくりにも熱心に取り組まれています。



九州

九州農政局長賞（大豆集団の部）



弁城地区営農組合農作業受託部会 様
（福智町）

経営の概要

- ・平成22年2月に「弁城地区営農組合」を設立
- ・構成農家数19戸、経営面積33.9ha
- ・作付面積：大豆33.9ha
- ・大豆単収：94kg/10a（フクユタカ）

栽培の特徴

- ・麦-大豆-水稻のブロックローテーション
- ・従来の肥培管理に合わせ、令和元年産から**部分浅耕一工程播種を導入し、省力化及びコスト低減**



福岡県大豆作経営改善共進会にて局長賞を受賞

受賞おめでとうございます

渡り鳥の飛来シーズン間近、鳥インフルエンザに注意を

我が国においては、平成30年1月に香川県で高病原性鳥インフルエンザが発生して以降、家きんでの発生は確認されていませんが、**周辺国のロシア、中国、台湾においては、本年も家きんでの発生が確認されています。**また、韓国においては、本年10月に野鳥から高病原性のウイルスが確認されています。こうした周辺国での発生状況を考慮すれば、我が国においても、今秋以降、**厳重な警戒が必要**です。

これから渡り鳥の本格的な飛来シーズンを迎えます。養鶏農家の皆様におかれましては、**引き続き、飼養衛生管理の徹底による発生予防や患畜の早期発見・早期通報に万全を期していただきますようお願いいたします。**

異常を見つけた場合には、直ちに最寄りの家畜保健衛生所へ連絡してください。

鳥インフルエンザに関する情報（農林水産省HP）
<http://www.maff.go.jp/j/syuan/douei/tori/>



【お問合せ先】 九州農政局福岡県拠点地方参事官室
〒812-0018 福岡県福岡市博多区住吉3-17-21 TEL 092-281-8261（代表）
<http://www.maff.go.jp/kyusyu/fukuoka/index.html>

